

〈農政・林務関係〉



し述べました基本政策に沿って特色のある事業を積極的かつ重点的に進めていく考えであります。以下、今回の歳出予算において緊急に講じた施策を中心に各部門の主な内容につきましてご説明申し上げます。

### 農林漁業の近代化

まず、農政関係におきましては、米の生産調整とこれに伴う作付転換を円滑に推進していくことが当面の課題であると存じます。

国が、本県に示しました調整目標数量は、五万四千九百トンでありまして、昨年の目標数量の二・〇七倍、実績数量の一・三八倍となっております。県といたしましては、すでに総合農政対策本部員会議のご了解のうえ、市町村ごとに目標数量を定め、ご協力をお願いしているところであります。

米の生産調整奨励金につきましては、新年度は転作を中心とした奨励補助金となり、それぞれ平均して、単純休耕三万円、寄託休耕及び普通転作は三万五千円、特別転作は四万円が支払われることとなります。

県といたしましては、調整水田を活用して、それぞれの地域に適した転換作目の生産を推進するため、必要な対策を講ずる予定であります。今回は、作付時期などの関係から早急に着手すべき作目の作付推進事業、その他稲作転換に要する当面の事業費として総額二億四千二百万円を計上いたしました。

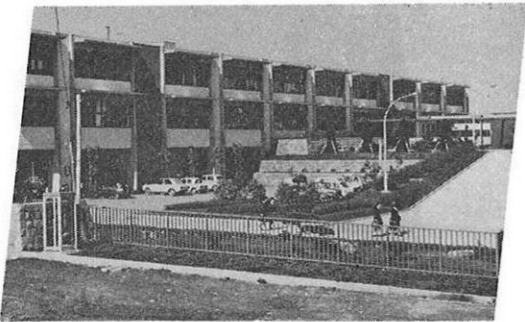
まず、作付推進関係におきましては、野菜、大豆、飼料作物につきまして機械施設の導入、基盤整備に要する経費について助成を行なうこととし、九千五百万円を計上いたしております。

畜産関係では、県有、農協有雌牛などの貸付ならびに肉用牛購入に要する助成などに六千六百万円を計上して、水田の飼料作物を利用した家畜の導入を促進することといたしております。

また、市町村が転用水田を取得するため、農業金融機関から借り入れる資金に対する利子補給、農協による受託経営の推進、あるいは休耕地管理に要する経費の助成とともに、他の産業への転職を希望する農業者に対する転職訓練の実施について、それぞれ所要額を計上して対策の万全を期してまいりたいと考えております。

そのほか、農政関係といたしましては、果樹、畑作、い草、養蚕、畜産関係の生産、加

〈教育関係〉



工、流通対策につきまして、継続的な事業の実施をいたしますほか、農業金融、土地基盤整備、あるいは構造改善につきましても、所要額を計上して事業の円滑な推進をはかつていくことといたしました。

なお、林務関係につきましては、治山、造林及び林道整備などの投資事業を引き続き実施いたしますとともに、松喰虫、野ねずみなどの森林病虫害の駆除につきまして、適期防除の徹底をはかるために必要な経費を計上いたしております。

### 教育の振興

郷土の発展を担う人材の養成は、県政の重要な課題であり、今後各般にわたり対策を検討してまいりたいと存じますが、当面、学校教育につきましては、これに伴う新規の政策をとりあえず実施することといたしました。

まず、県立学校の学級編制につきましては、天草高校倉岳分校を分離独立させるほか、天草及び馬見原地区の五校に学級増を行なうことといたしておりますが、さらに進学率の低い辺地をかかえる阿蘇、芦北地区の四校に学級増を追加することとして、県下の高校進学機運の急激な上昇に対処することといたしました。

一方、過疎地域における小学校の三箇学年複式学級の全廃をはかるため、単県費による教員を二十三人増員いたしますとともに、菊池養護学校及び熊本ろう学校にそれぞれ二学級を新增設することとし、特殊教育の振興に努めることといたしております。

次に、教育費の父母負担の軽減につきましては、産業教育、理科、数学教育などの振興のための施設設備費として約三億円を計上いたしておりますが、そのうち父母負担をお願いしていた寄付金を解消いたしましたほか、従来、後援会などで入学時に行なっていた入学寄付金を新年度から全廃することに決め、これに代る財源を次の補正予算において計上することといたしております。

また、県立学校の施設の近代化をはかるため、すでに着手いたしております大津高校ほか六校の全面改築工事につきましては、教育上、早期完成を必要とする教育棟、管理棟の建設を引き続き行なうこととし、五億五千三百万円を計上いたしましたほか、教育研修センターの継続工事を実施して、教職員の組織的な研修の強化を早急にはかかってまいりたいと存じます。